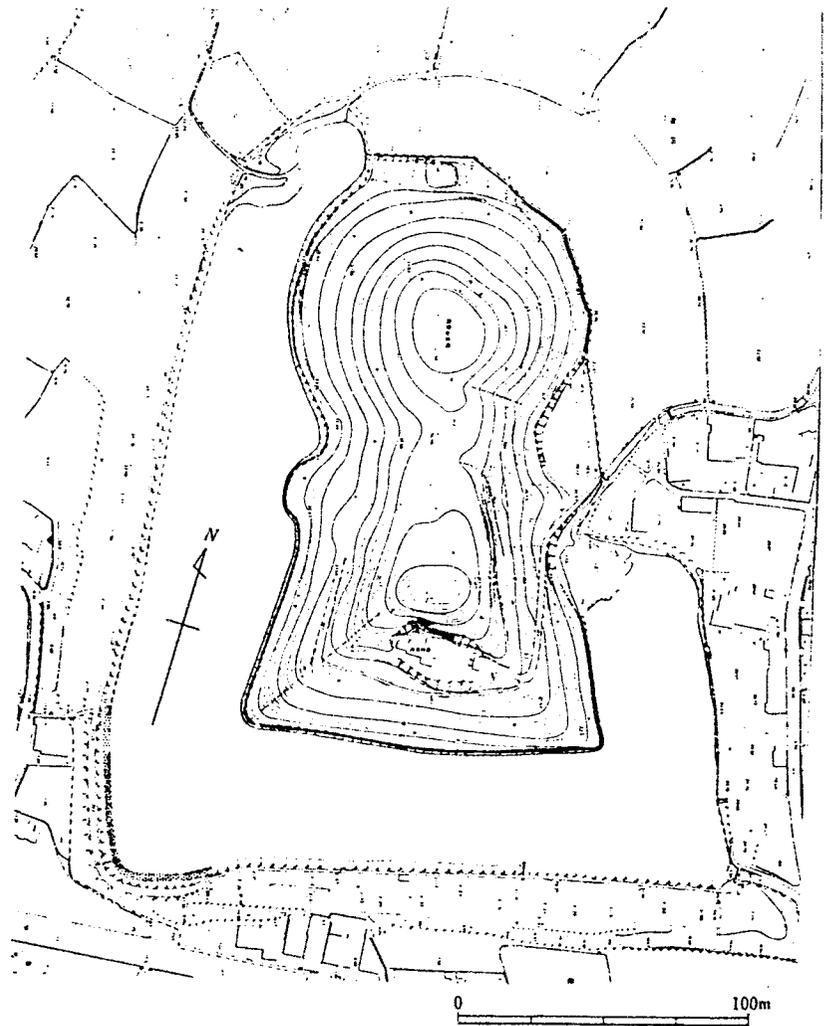


— 秋の古墳巡り —

備前の古墳を訪ねて



両宮山古墳の墳丘

備陽史探訪の会 古墳部会

はじめに

備陽史探訪の会は、昨年を引き続いて、岡山県の古墳を見て回ります。今回のコースは、“備前”をめぐるものです。

古代に“吉備”と呼ばれていた地域が、律令制の下で“備前”・“備中”・“備後”と分かれたのはご承知のとおりです。このうち、現在、広島県東部を中心とする“備後”に対し、“備前”と“備中”が岡山県に含まれています。

一般に“吉備”と聞くと、総社市の国分寺跡周辺のたたずまいや、ふたつの「つくり山」（総社市の作山古墳・岡山市の造山古墳）の大きな姿が目につかぶのではないのでしょうか。

言うまでもなく、そのイメージは、“吉備”の一部でしかありません。古代に畿内勢力と対抗した吉備の別の顔も見てみたいものです。

どうか、“備前”の風景をゆっくりとお楽しみください。

(1) 今回のコースの概略

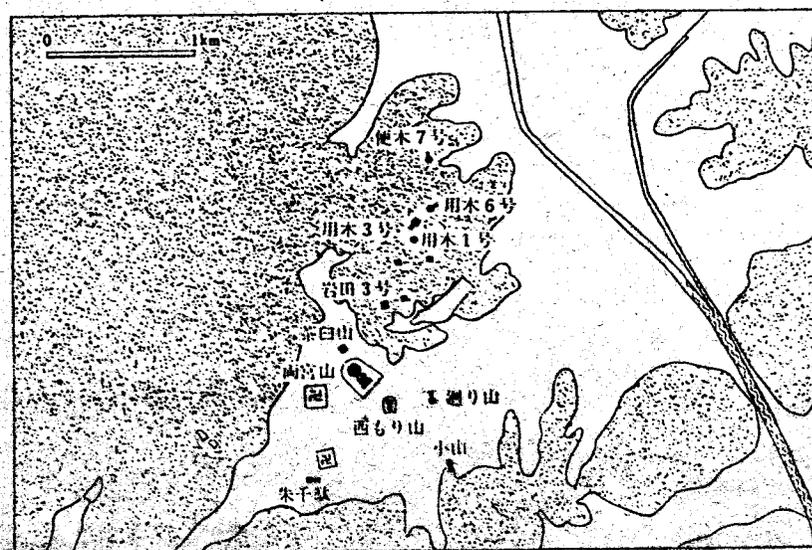
今回は、備前の中でも3ヶ所にポイントをしばって見学します。

岡山県には、三大河川と呼ばれる大きな川が流れています。西から高梁川、旭川、吉井川と言いますが、大まかに考えて、高梁川流域が”備中”、旭川から吉井川にかけてが、”備前”の地域です。

このうち、旭川と吉井川の下流域は、特に古墳の数が多い地域です。弥生時代最終末の墳丘墓を始め、三角縁神獣鏡を多数出土した備前車塚古墳、そして、吉備第三位の規模を持つ両宮山古墳、備前国府跡など豊富な遺跡が存在するこの地域は、総社市周辺とはまた、別の意味で、吉備の有力地域です。

そのうち今日は、旭川の支流の①砂川流域、そして、②吉井川下流域右岸、③吉井川下流域左岸、の3ヶ所を訪れます。

メモ



砂川中流域

(2) 砂川流域

旭川と吉井川にはさまれた砂川は、現在の山陽町を流れていますが、この地域は、岡山県下でも古墳の密集度の高い地域のひとつです。

特に現在、山陽団地が作られている丘陵には、用木古墳群、岩田古墳群を代表として、数多くの古墳が築かれていました。

古い墓の中には、弥生時代の最終末にまでさかのぼるものもありますが、古墳時代になると、用木1号墳をその代表とする用木古墳群が築かれます。これらの古墳によって、この地域に勢力を持った有力豪族の支配が、予想されます。

5世紀を中心とする古墳時代中期には、吉備第3位の両宮山古墳が、築かれます。全長約200mのこの古墳は周囲に堀をめぐらせている点で、備中の造山・作山の二大巨墳とは趣を異にしています。

年代的にも、それら二大墳よりはやや新しいものと見られており、

①同時期に備中に巨大墳が作られないこと

②畿内の巨大墳に特徴的な堀を吉備の巨墳で唯一取り入れていることなどから、この段階における吉備勢力の分化と畿内への従属化を物語る古墳であるとも言われているものです。

古墳時代後期にはいっても、岩田14号墳を代表とする岩田古墳群が築かれており、やや視野を広くとると、後期の三大巨石墳のひとつである牟佐大塚古墳（岡山市）もあり、備前の中でも有力な地域のひとつと言えます。

(3) 吉井川下流域右岸

岡山県の東部を流れる吉井川の下流域も、古墳研究において古くから古墳の築造の多いことで知られています。

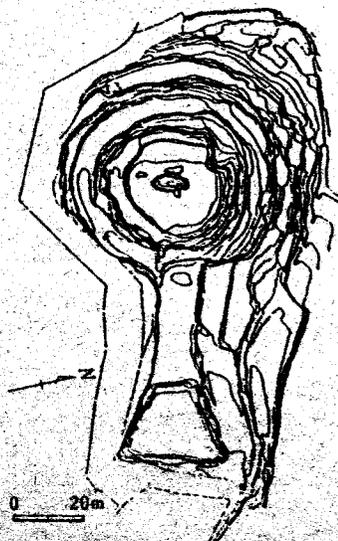
ここで、先程の砂川と吉井川とにはさまれた、吉井川下流域右岸（岡山市）の地域を見てみると、吉備最古の前方後円墳のひとつである浦間茶臼山古墳が目につきます。

浦間茶臼山古墳は、全長約140mの前方後円墳です。後円部の石室は完全に破壊されていますが、前方部がバチ型に開き、円筒埴輪の古いタイプが出土していることから、吉備最古の前方後円墳のひとつと言われています。

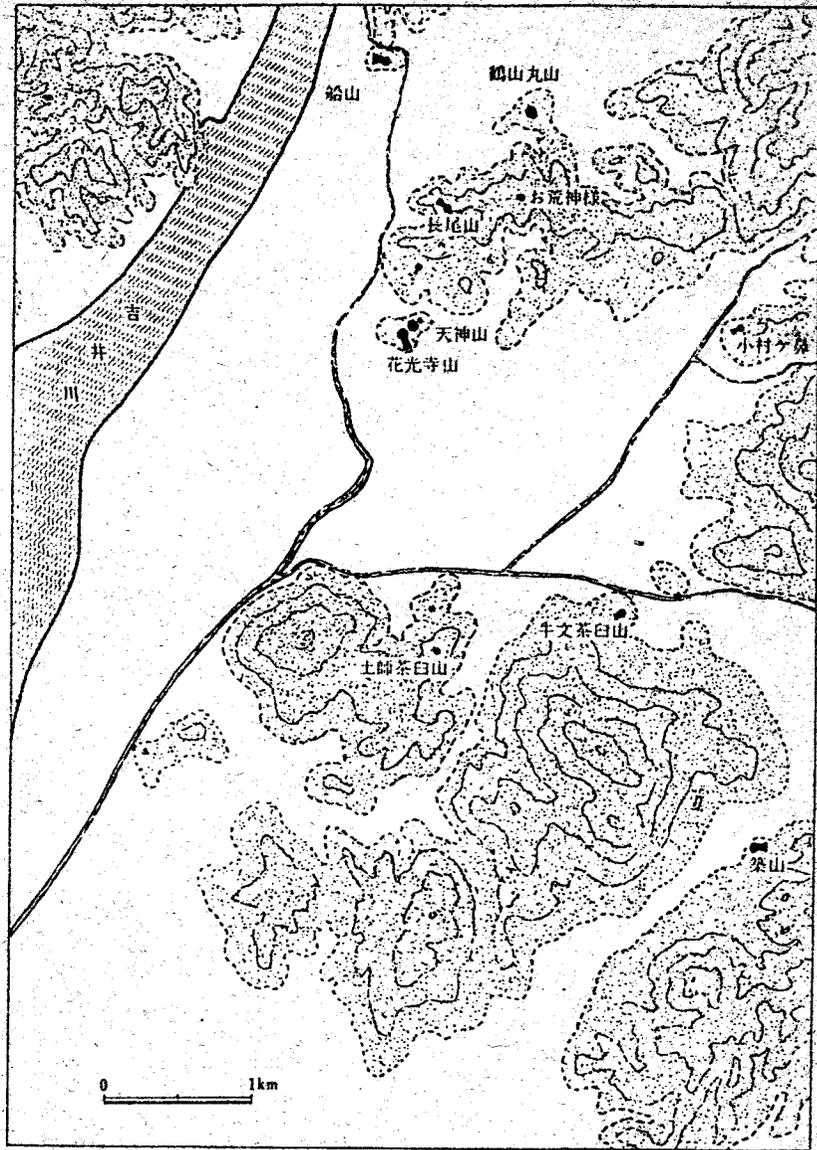
また、その墳形の平面プランが奈良県の箸墓古墳の約2分の1になることが、最近の研究で明らかになり、畿内と吉備との結びつきを示す古墳としても注目されています。

ところがこの地域は、浦間茶臼山古墳が築かれた後は、小型の古墳がいくつも見られるだけで、目立った古墳は築造されていません。この地域の勢力に移動があったことを示すものなののでしょうか。

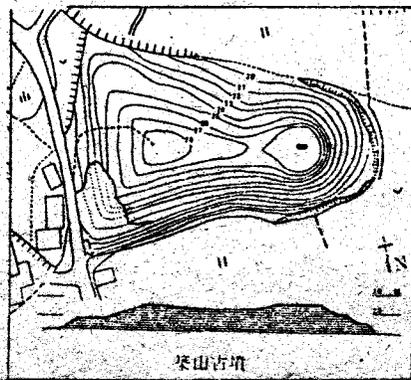
メ モ



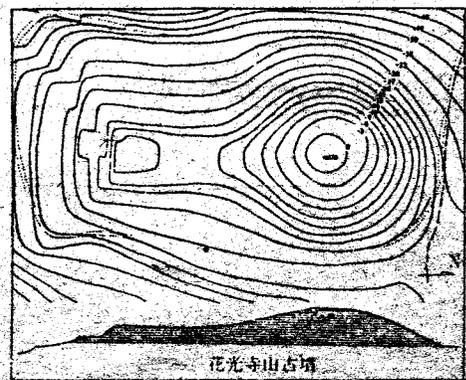
浦間茶臼山古墳の平面



吉井川東岸下流域



築山古墳



花光寺山古墳

(4) 吉井川下流域左岸

西に吉井川、残る三方を山に囲まれたこの地域も古墳の築造が多く認められる、古代吉備の有力な地域のひとつです。

北方の長尾山古墳(備前市)は4世紀中頃の築造と見られる古式の前方後円墳で、これに続く前期古墳がその周囲にいくつか認められます。

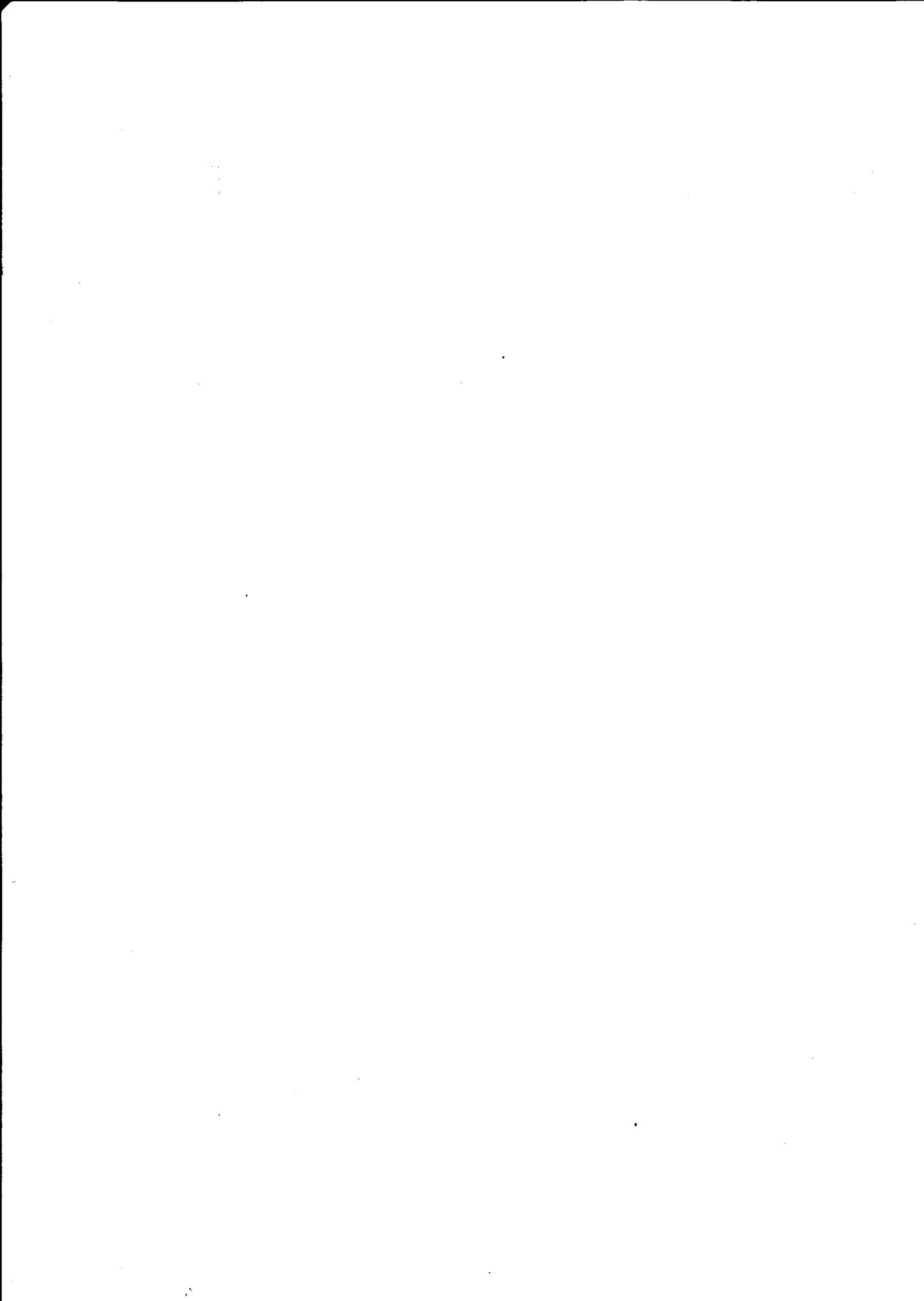
花光寺山古墳(長船町)は、全長約100mの前方後円墳で、この地域最大の規模です。この北側に作られているのが新庄天神山古墳(備前市)です。従来、前方後円古墳と見られてきましたが、最近ではむしろ円墳であるとの説が一般的です。

さらに、北側の丘陵上には鶴山丸山古墳(備前市)が築かれています。全長約60mの円墳で、造り出しがついています。石室内には装飾文の施された家型石棺が置かれており、30数面の銅鏡が出土したことで有名です。

5世紀代の古墳時代の中頃になると、南方に帆立貝式の牛文茶臼山古墳(長船町)が築かれますが、この後には、東の端に築山古墳(長船町)が築かれます。築山古墳は全長約90mの前方後円墳。後円部には家型石棺が露出しており、もとは石室があったことを推測させます。

なお、最近の研究で、この石材は大阪府と奈良県とにまたがる二上山のものということがわかり、畿内とのつながりも推測されます。

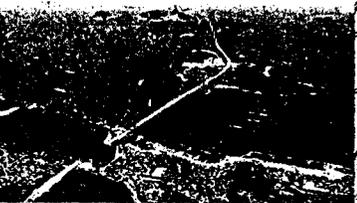
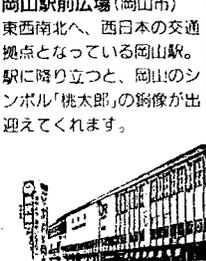
総じてこの地域は、最古の古墳こそ築かれていないものの、4世紀代には継続して古墳が築かれており、安定した勢力の存在を示しています。ところが、この勢力は5世紀代も後半になると比較的墳形は整ったものの、逆に畿内との結びつきを示している古墳を築いている点で特徴的です。



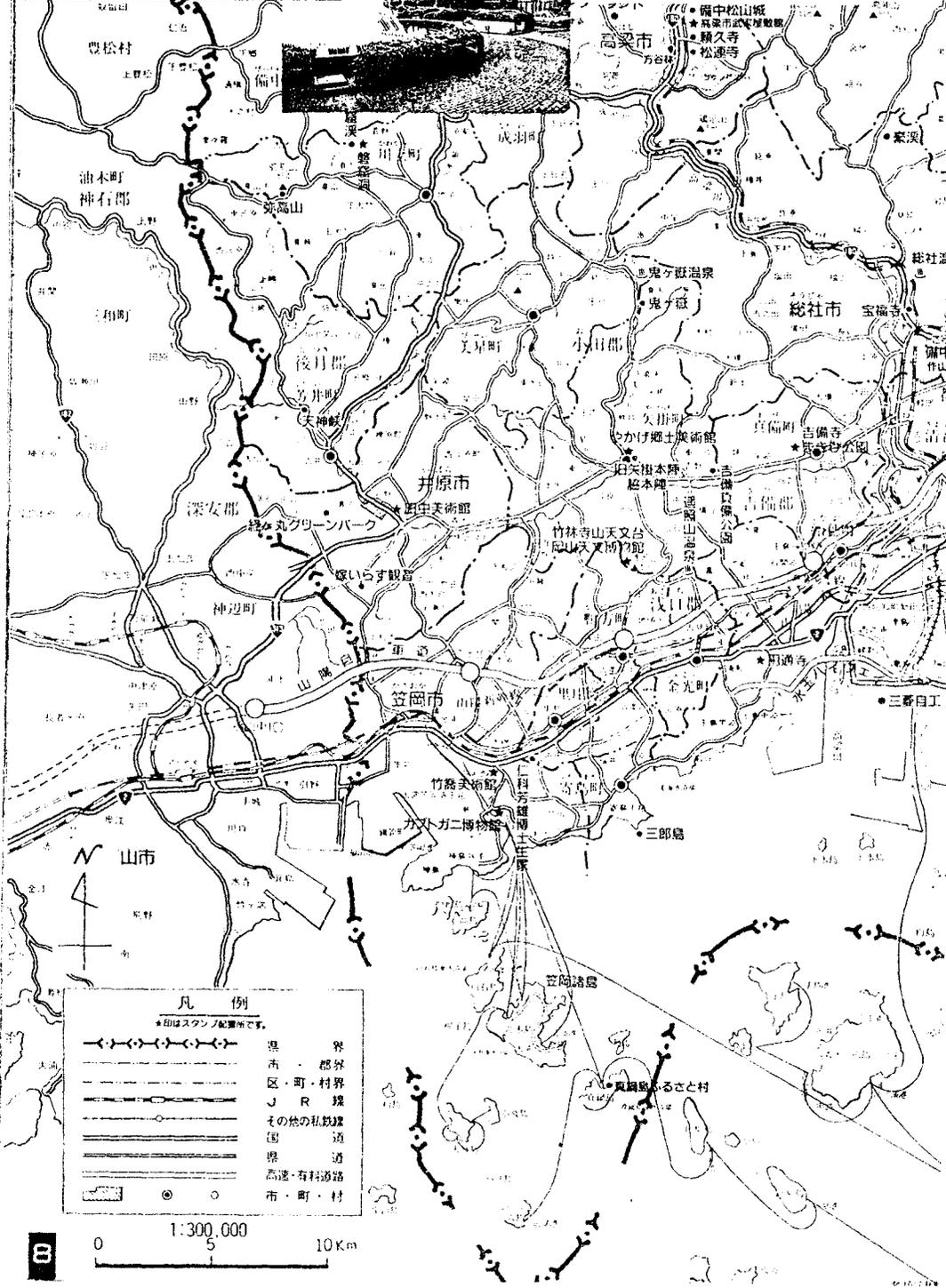
岡山空港(岡山市)
 岡山の空の玄関口、岡山空港。空港からはリムジンバスが運行しており、県内主要都市への連絡もスムーズです。



岡山駅前広場(岡山市)
 東西南北へ、西日本の交通拠点となっている岡山駅。駅に降り立つと、岡山のシンボル「桃太郎」の銅像が欢迎您的てくれます。



瀬戸中央自動車道
 ちょっと足をのぼして四国へ、という方はこの瀬戸中央自動車道を利用すれば、便利でスピーディ。絶景の多島美に架けられた瀬戸大橋を渡る爽快感は、もう圧巻のひとつです。

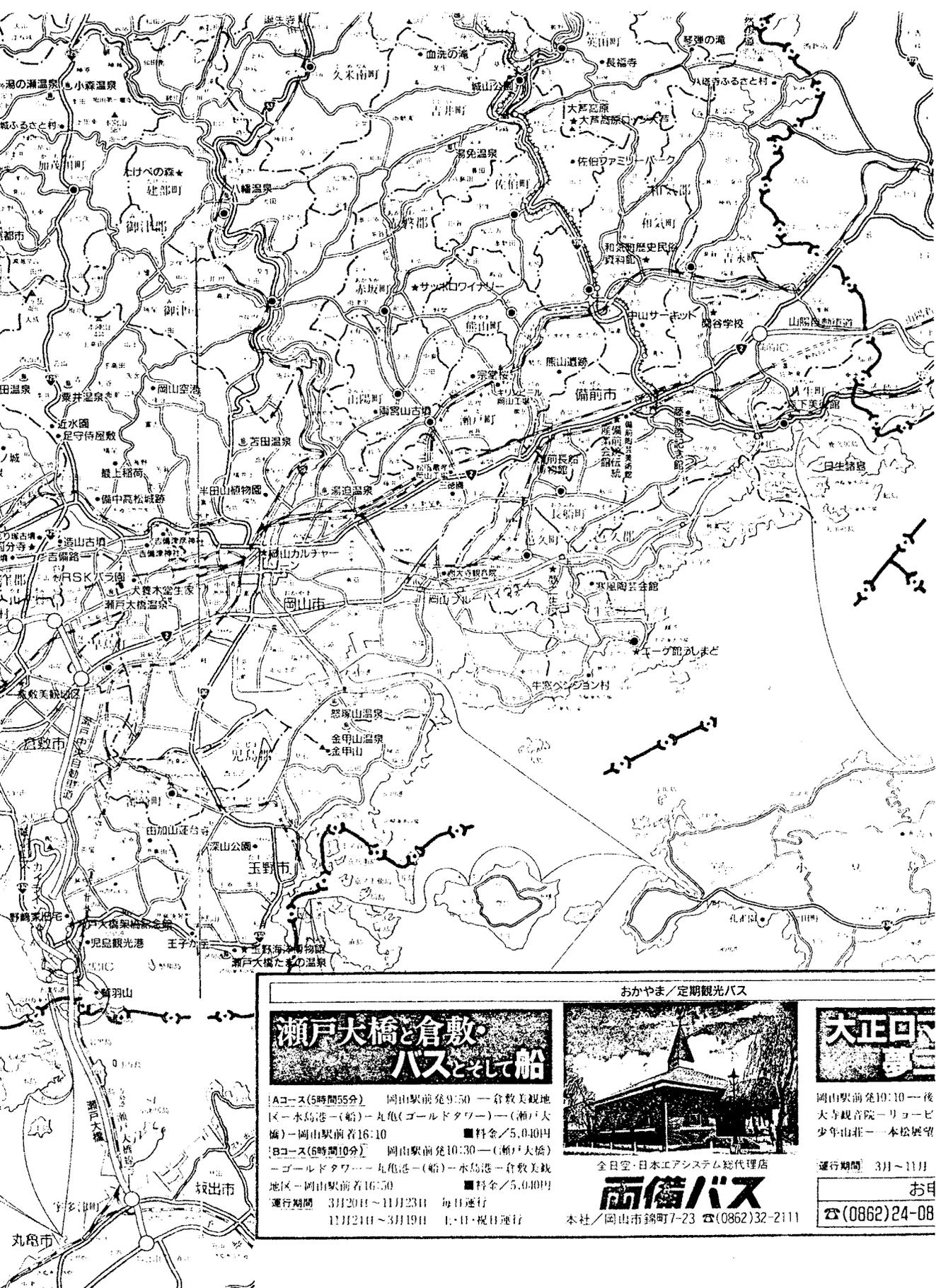


凡 例

●印はスケッチ配線図です。

	県界
	市・郡界
	区・町・村界
	J R 線
	その他の私鉄線
	国 道
	高速・有料道路
	市・町・村

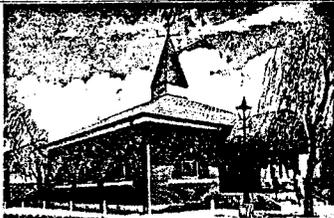
1:300,000
 0 5 10 Km



おかやま/定期観光バス

瀬戸大橋と倉敷 バスとそして船

【Aコース(5時間55分)】 岡山駅前発9:50 → 倉敷美観地区 → 水島港 → (船) → 丸亀(ゴールドタワー) → (瀬戸大橋) → 岡山駅前着16:10 ■料金/5,040円
 【Bコース(6時間10分)】 岡山駅前発10:30 → (瀬戸大橋) → ゴールドタワー → 丸亀港 → (船) → 水島港 → 倉敷美観地区 → 岡山駅前着16:50 ■料金/5,040円
 運行期間 3月20日～11月23日 毎日運行
 11月24日～3月19日 土・日・祝日運行



全日空・日本エアシステム総代理店

両備バス

本社/岡山市錦町7-23 ☎(0862)32-2111

大正回廊

岡山駅前発10:10 → 後
 大寺観音院 → リョービ
 少年山荘 → 本松展望

運行期間 3月～11月

お母 ☎(0862)24-08